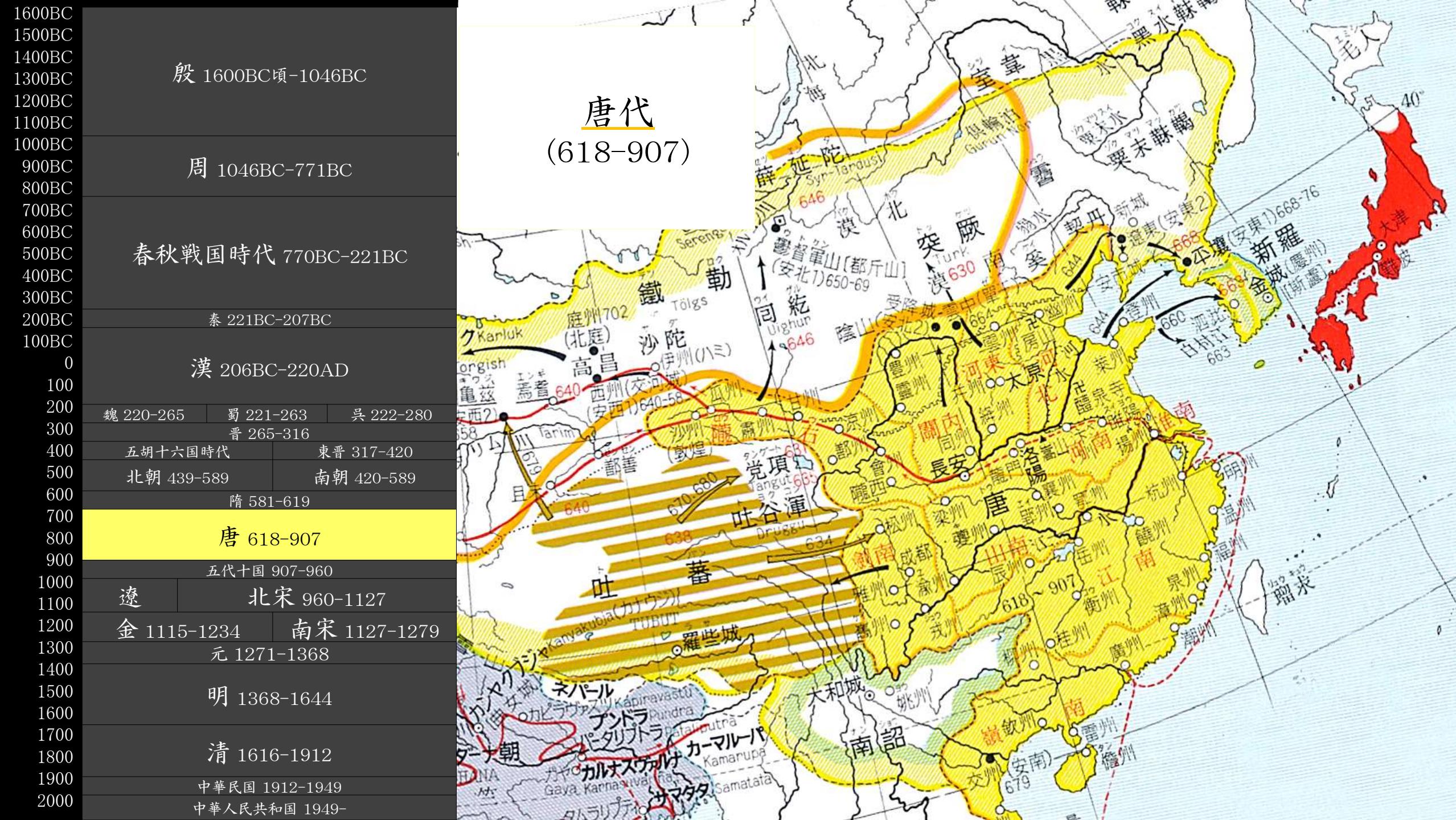


中国の文化IX 第11回

五代十国時代(上)

印刷術の発明と書籍出版のはじまり

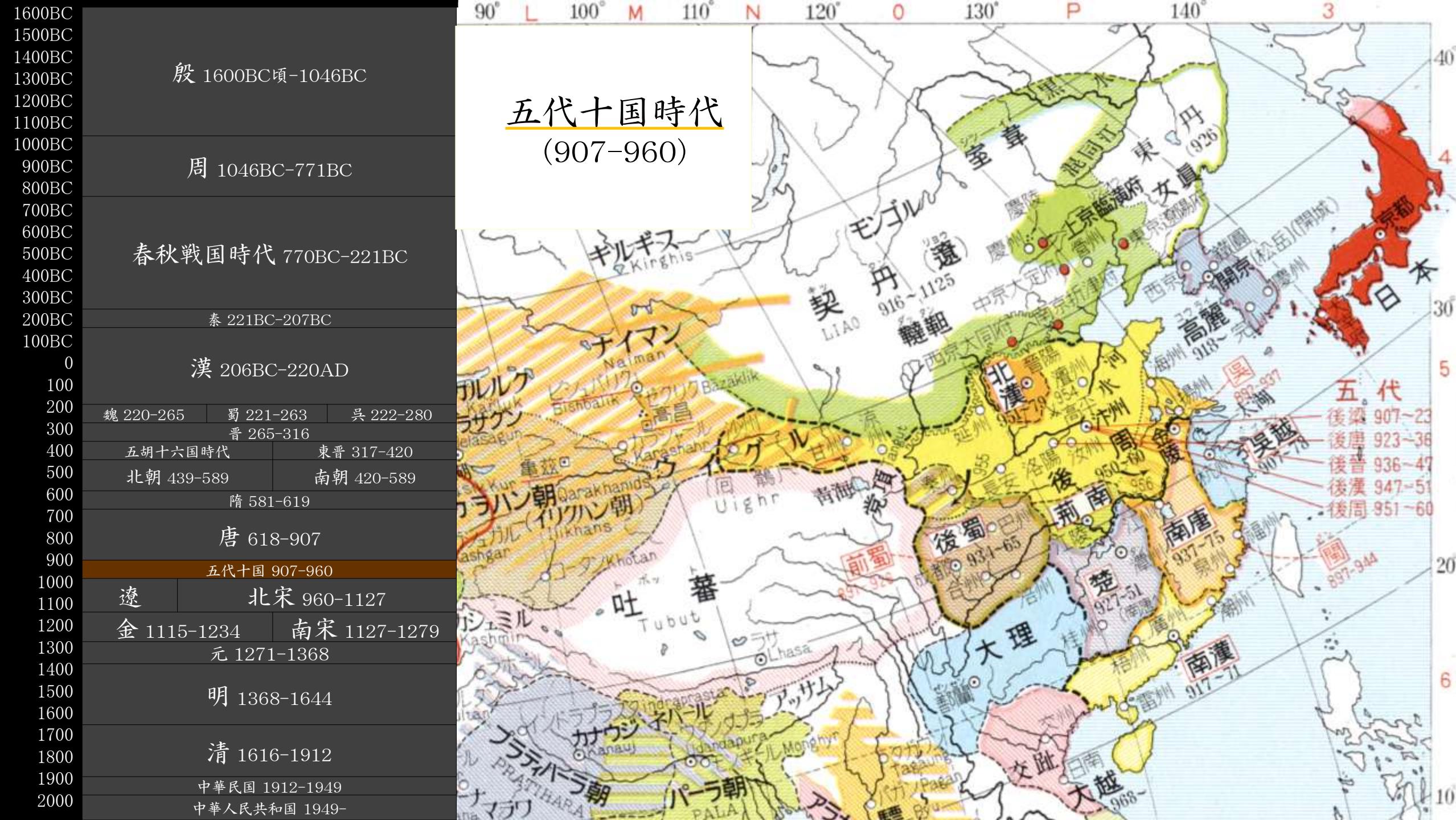
如是我聞一時佛在舍衛國祇樹給孤獨園與大
比丘衆千二百五十人俱余時世尊食時著衣持
鉢入舍衛大城乞食於其城中次第乞已還至本處
飯食訖收衣鉢洗足已敷座而坐時長老須菩提在大
衆中即從坐起偏袒右肩右膝著地合掌恭敬而
白佛言希有世尊如來善護念諸菩薩苦付囑諸
菩薩世尊善男子善女人發阿耨多羅三藐三菩提



五代十国時代

八九四年、唐の衰退を見た日本は、菅原道真の建議により遣唐使の廃止を決定した。

それから十三年後、唐は滅亡し、中国は再び五十年に及ぶ分裂の時代を迎えた。五代十国時代である。



| | |
|--------|--------------------|
| 1600BC | |
| 1500BC | |
| 1400BC | |
| 1300BC | 殷 1600BC頃-1046BC |
| 1200BC | |
| 1100BC | |
| 1000BC | |
| 900BC | 周 1046BC-771BC |
| 800BC | |
| 700BC | |
| 600BC | |
| 500BC | 春秋戦国時代 770BC-221BC |
| 400BC | |
| 300BC | |
| 200BC | 秦 221BC-207BC |
| 100BC | |
| 0 | 漢 206BC-220AD |
| 100 | |
| 200 | 魏 220-265 |
| 300 | 蜀 221-263 |
| | 晉 265-316 |
| 400 | 五胡十六国時代 |
| 500 | 東晋 317-420 |
| 600 | 北朝 439-589 |
| | 南朝 420-589 |
| 700 | 隋 581-619 |
| 800 | |
| 900 | 唐 618-907 |
| 1000 | |
| 1100 | 五代十国 907-960 |
| 1200 | 遼 |
| 1300 | 北宋 960-1127 |
| 1400 | |
| 1500 | 金 1115-1234 |
| 1600 | 南宋 1127-1279 |
| 1700 | |
| 1800 | 元 1271-1368 |
| 1900 | |
| 2000 | 明 1368-1644 |
| | |
| | 清 1616-1912 |
| | |
| | 中華民国 1912-1949 |
| | 中華人民共和国 1949- |

五代十国時代 (907–960)

なぜ「五代十国時代」と呼ばれるのか？

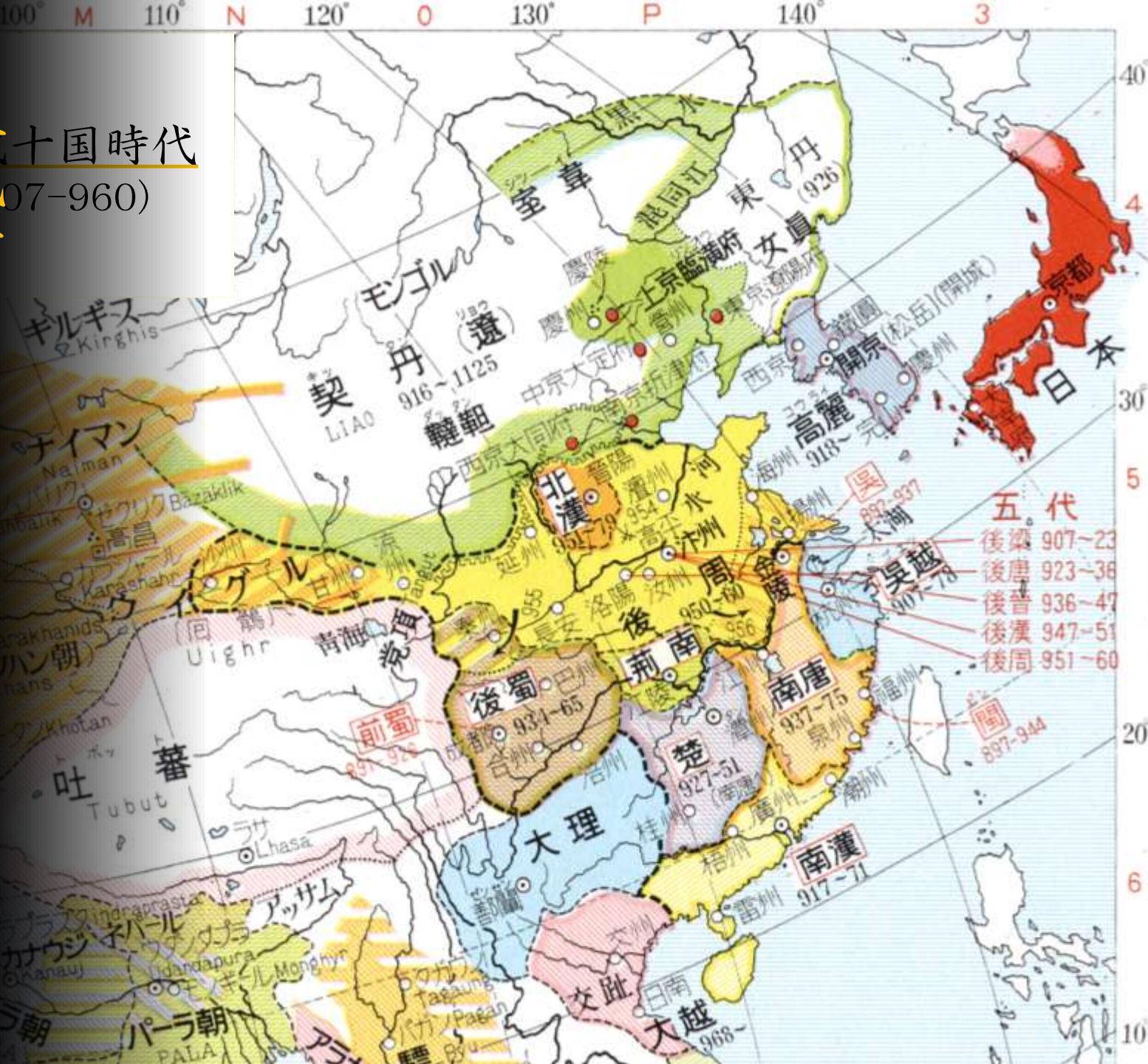
五代十国とは？

十国時代 (907-960)

〔解說〕

「五代」とは、唐末に頭角を現した沙陀族を中心として、中原に興亡を繰り返した五つの王朝を指す。

これらの王朝はいずれも短命で、
地方には支配が及ばなかつたため、
前後して十の地方政府権が誕生した。
これらを「十国」と呼ぶ（図中の□）。





五代の後唐・後晋・後漢を築いたテュルク系沙陀族（想像図 汗血馬作）



書籍出版のはじまり

この唐末から五代十国時代にかけて、中国は武人支配の時代を迎える。

武人の台頭により門閥貴族が没落すると、これに代わって新たな政治の担い手となつたのが、科挙出身の文人官僚たちであつた。

彼らは、科挙を通じて身分や家柄に関係ない平等な社会を築くため、唐末に民間で発達した印刷技術を使つて知識の普及に努めた。人類最初の書籍出版のはじまりである。

講義内容

第一節 五代十国時代
～武人支配の時代

第二節 印刷術の誕生
～仏教が生んだ印刷術

第三節 出版のはじまり
～写本の時代から刊本の時代へ



第一節

五代十国時代

武人支配の時代



中国大陆



朝鮮半島



日本列島





中国大陆



朝鮮半島

東アジアの武人支配



日本列島

弥生時代

古墳時代

飛鳥時代 592-710

奈良時代 710-794

平安時代

794-1185

鎌倉時代 1185-1333

南北朝時代 1336-92

室町時代

戦国時代 1493-1590

安土桃山時代 1573-1603

江戸時代

1603-1868

明治 1868-1912

大正 1912-1926

昭和 1926-1989

平成 1989-

およそ七百年に及ぶ
武家政権による支配

武家政治と近代日本の国家主義

(戦前の)日本において、国家主義的かつ權威主義的な反動が起こったことの裏には、当然ながら数世紀にわたつて形成された日本人のある特質があつた：：幾百年もの武家政治の下にあつた日本人は、軍国主義者の主導権主張を唯々としてうけいれ：：むしろもう一度天下り權威のもとで感情的な安住を得たい、とさえ考えていた。

ライシャワー『日本——過去、現在』

(時事通信社、一九六七)

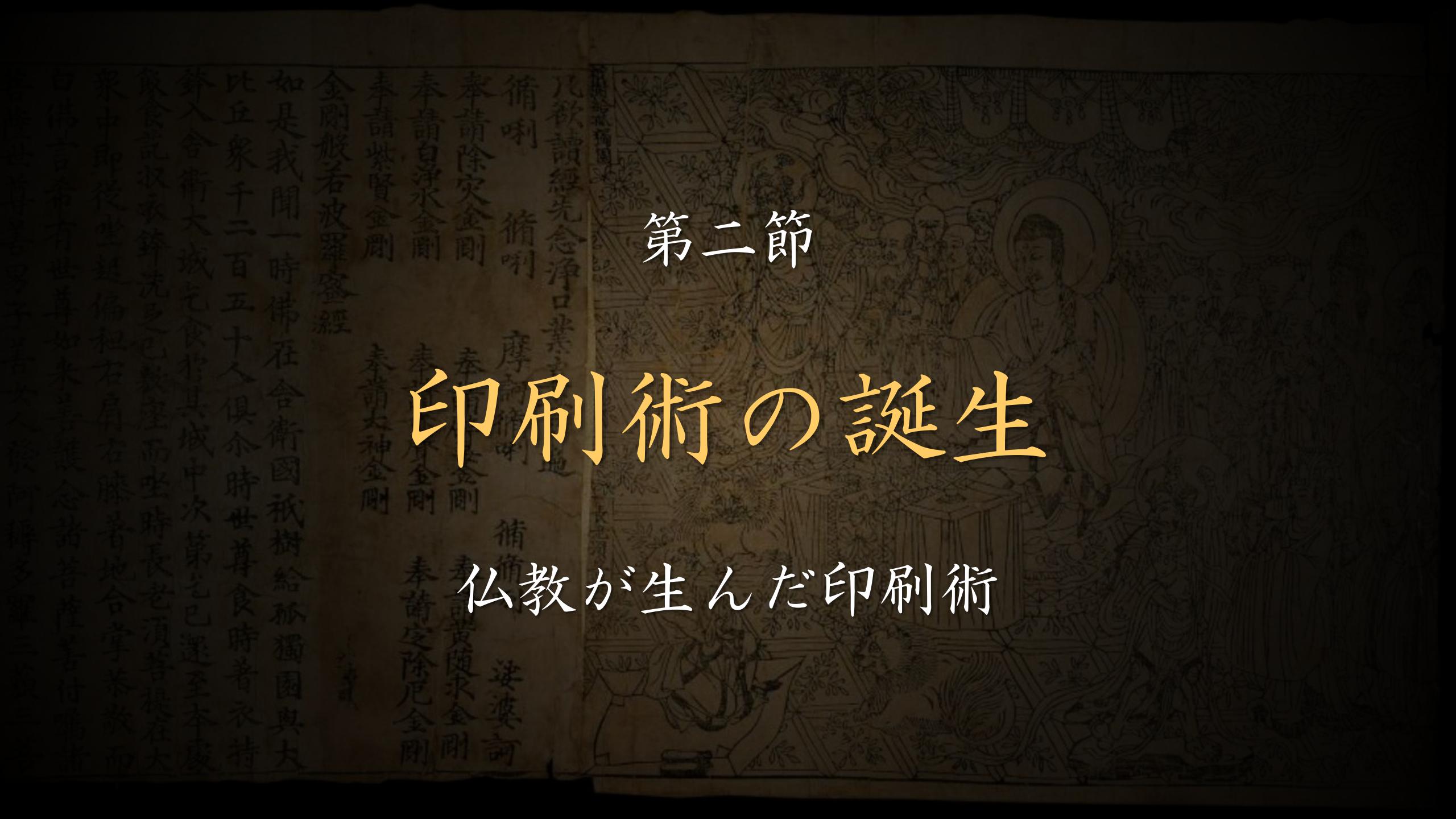
ハーバード大学の日本研究者で駐日大使も務めたライシャワー
(Edwin Reischauer, 1910~90)



印刷術の誕生

仏教が生んだ印刷術

第二節



印刷術の誕生と書籍出版の開始

武人の台頭によつて門閥貴族が没落した後、政治の実務を担つたのは、科挙出身の文人官僚たちであつた。彼らは家柄や身分に関係のない実力本位の社会を築くため、科挙の受験に必要な書籍の普及に努めた。そこで利用されたのが、中国の四大発明の一つ印刷術である。

印刷術の誕生時期については諸説があるが、遅くとも九世紀には高度な印刷技術が存在したことが、敦煌石窟から発見された唐代の印刷物（「金剛般若波羅蜜經」八六八年刊）から明らかになつてゐる。

印刷術は、唐代、中国で発明されたが、なぜ唐代にそれが必要となつたのか？

父母為嚴君則子孝而臣忠也

故孝文施為政，重其事。其力政，使
信不知其可。不知其可者，古其不可行。大車無輶，小車

大車在道小車草車

子言其制之善士世可知其制度復也不可知子曰般固於貞

因於殺亂所損益可知。自古在可殺者

自周之後雖百世制度可知以爲
雖百人可知易植金之極於三王亦不是過

而祭之者是謗

天日神地日松仁日思非其祖先而祭之
媚永淫祀之福斯易妨之

1969年に新疆のアスター古墳で発見された唐代の論語の写本

| |
|----------------|
| 1600BC |
| 1500BC |
| 1400BC |
| 1300BC |
| 1200BC |
| 1100BC |
| 1000BC |
| 900BC |
| 800BC |
| 700BC |
| 600BC |
| 500BC |
| 400BC |
| 300BC |
| 200BC |
| 100BC |
| 0 |
| 100 |
| 200 |
| 魏 220-265 |
| 蜀 221-263 |
| 吳 222-280 |
| 晋 265-316 |
| 300 |
| 400 |
| 五胡十六国時代 |
| 東晋 317-420 |
| 500 |
| 北朝 439-589 |
| 南朝 420-589 |
| 600 |
| 隋 581-619 |
| 700 |
| 800 |
| 唐 618-907 |
| 900 |
| 五代十国 907-960 |
| 1000 |
| 遼 |
| 北宋 960-1127 |
| 1100 |
| 1200 |
| 金 1115-1234 |
| 南宋 1127-1279 |
| 1300 |
| 元 1271-1368 |
| 1400 |
| 1500 |
| 明 1368-1644 |
| 1600 |
| 1700 |
| 清 1616-1912 |
| 1800 |
| 1900 |
| 中華民国 1912-1949 |
| 2000 |
| 中華人民共和国 1949- |

仏教と印刷術

最初に印刷技術を必要としたのは仏教であった

印刷術の誕生

三蔵法師が百万枚の普賢菩薩像を印刷

大慈恩寺三藏法師傳卷第三

沙門惠立奉 撰妄條箋

起阿踰陀國終併爛犧國

自此東南行六百餘里渡彌伽河南至阿踰陀

國中那度寺百餘所僧徒數千人大小衆無事大

城中有故伽藍是伐薪般度菩薩唐言也親舊曰
婆羅般度菩薩天親天親於此制大小衆論及爲衆誦廢城西北四

五里臨彌伽河岸大伽藍中有窣堵波高二百

大慈恩寺三藏法師傳

(唐)沙門惠立本・釈彥悰箋

〔解説〕

『西遊記』で知られる唐代の僧・玄奘(六〇二~六六四)の事跡を記した記録に『大慈恩寺三藏法師傳』がある。弟子の慧立(えりゅう)と孫弟子の彥悰が著したもの。全十巻。

前半五巻は、玄奘の十数年におよぶ天竺(インド)への求法巡礼行記で、後半五巻は帰国後、請來した經典の漢訳に半生をかけた行状記。

日本の興福寺に一〇七一年の写本が伝わっている。

仏教の普及と印刷術の発展

大帝①は（玄奘）法師が先朝に重んじられていたため、即位後、ますます敬つた。：：（玄奘法師は）十俱胝②すなわち百萬の像を造ることを発願し、それを成し遂げた。

（唐）沙門惠立本釈彥悰箋

『大慈恩寺三蔵法師伝』卷十

【注釈】

①唐の第三代皇帝・高宗。

②俱胝、梵語kotiの音訳。諸説があるが、ここでは十万の意。



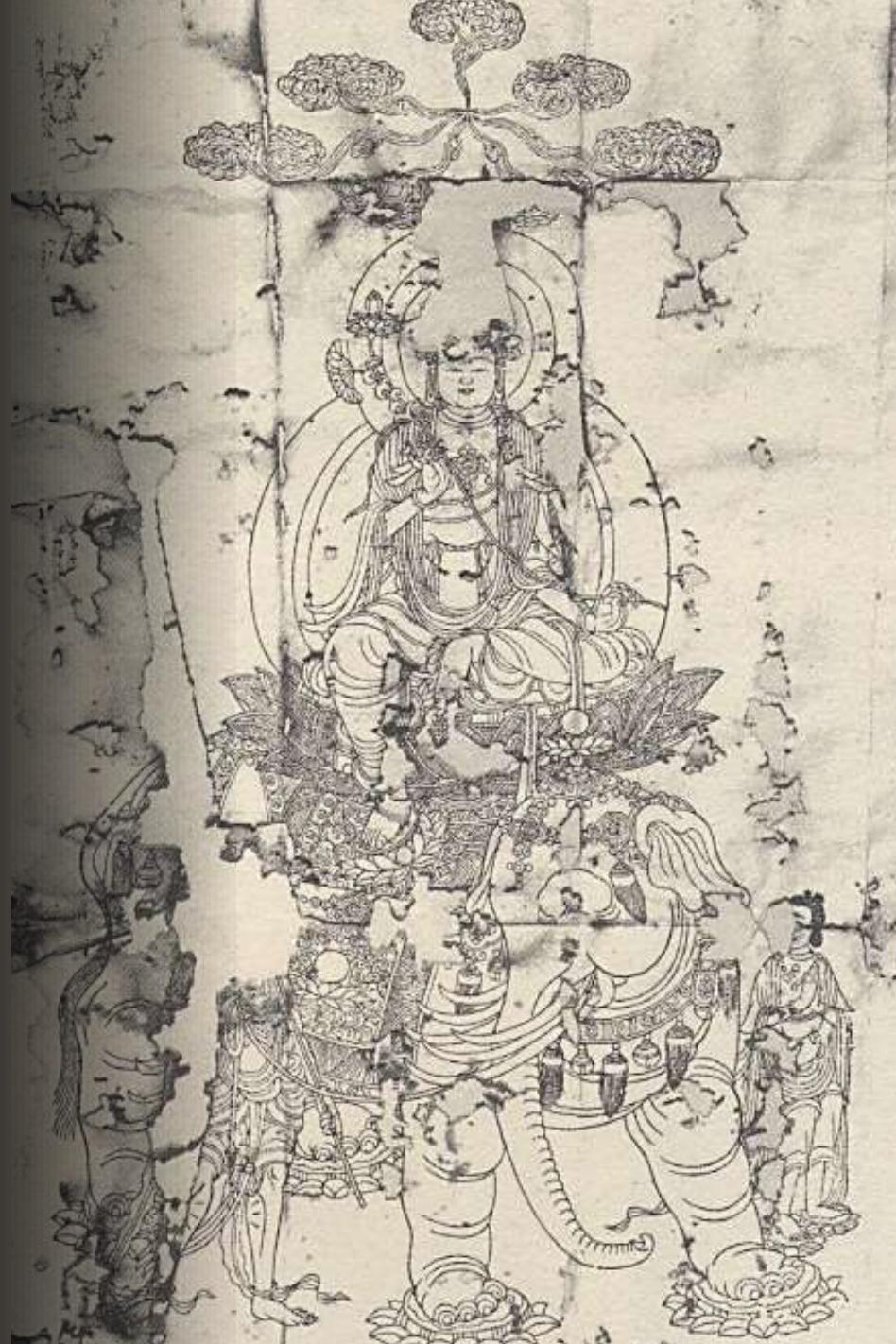
玄奘三蔵像(鎌倉時代 東京国立博物館蔵)

玄奘法師は、何を百万作つたのか？



玄奘三蔵像(鎌倉時代 東京国立博物館蔵)

(北宋)紙本版画普賢菩薩騎象像(清涼寺蔵・国宝)



玄奘が印刷した普賢菩薩像

玄奘は回鋒紙に普賢象を印刷し、各地の衆生に施した。毎年、五駄も用意したが余ることはなかつた。

(五代)馮贊『雲仙雜記』卷五所引『僧円逸録』

* 右図は、国宝「紙本版画普賢菩薩騎象像」。平安時代の僧・奐然(ちようねん、九三八~一〇一六)が、北宋から請來した釈迦如来立像(京都・清涼寺蔵)の中から、一九五四年に発見された。



玄奘が印刷したという普賢菩薩像はいまは伝わっていないが、唐代に印刷された仏教関連の印刷物はいまも東アジア各地に現存している。では、現存する印刷物で最古のものは、どこにあるのか？

①中国が主張する世界最古の印刷物

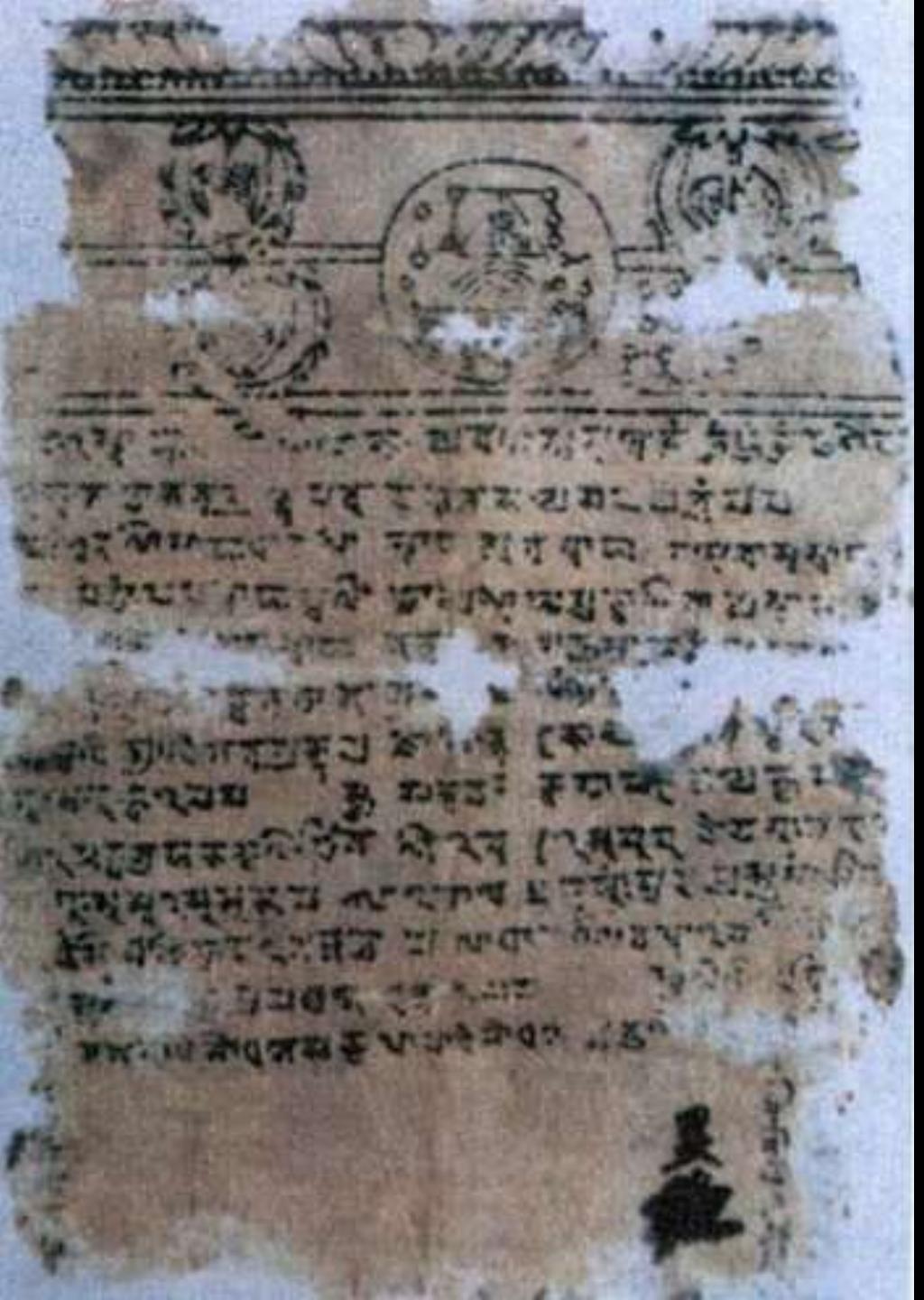
1974年、西安市西郊の唐代の墳墓で
梵文陀羅尼咒の印刷物が発見される

梵文陀羅尼呪(ボンブンダラニジュ)

〔解説〕

一九七四年、西安市西郊の唐代の墳墓からサンスクリット語で書かれた陀羅尼(呪文)の印刷物が発見された。「呉徳(冥)福」の四字が墨書きされていところから、被葬者は呉徳という人物であることがわかる。

同時に出土した腕輪や銅鏡、印刷に使われた紙の特徴から、中国の考古学会はこれを唐代初期のものと推定し、現存する世界最古の印刷物としている。



②韓国が主張する世界最古の印刷物

1966年、韓国慶州にある仏国寺釈迦塔から
無垢淨光大陀羅尼経の印刷物が発見された



慶州仏國寺の無垢淨光大陀羅尼經

「解說」

一九六六
迦塔から木
発見された
唐でこの
のが七〇一
が建立され
(七五一年)
究者はこれ
物と主張し

延摩醯首羅及天
龍八部等咸礼佛是
同聲白言我等已
蒙世尊加護祐此
呪法及造塔法威皆日

守衛住持讀誦書寫

供養為護一切諸眾生
故於後時今令彼衆
生悉得聞知不墮地
獄及諸惡趣我等為

報如來大恩咸共守護

令廣流通尊重恭敬
如佛无異不令此法而
有壞滅佛言善哉
善哉汝等乃能堅
固守護住持如是陀
羅尼法時諸大衆聞
佛說已歡喜奉行

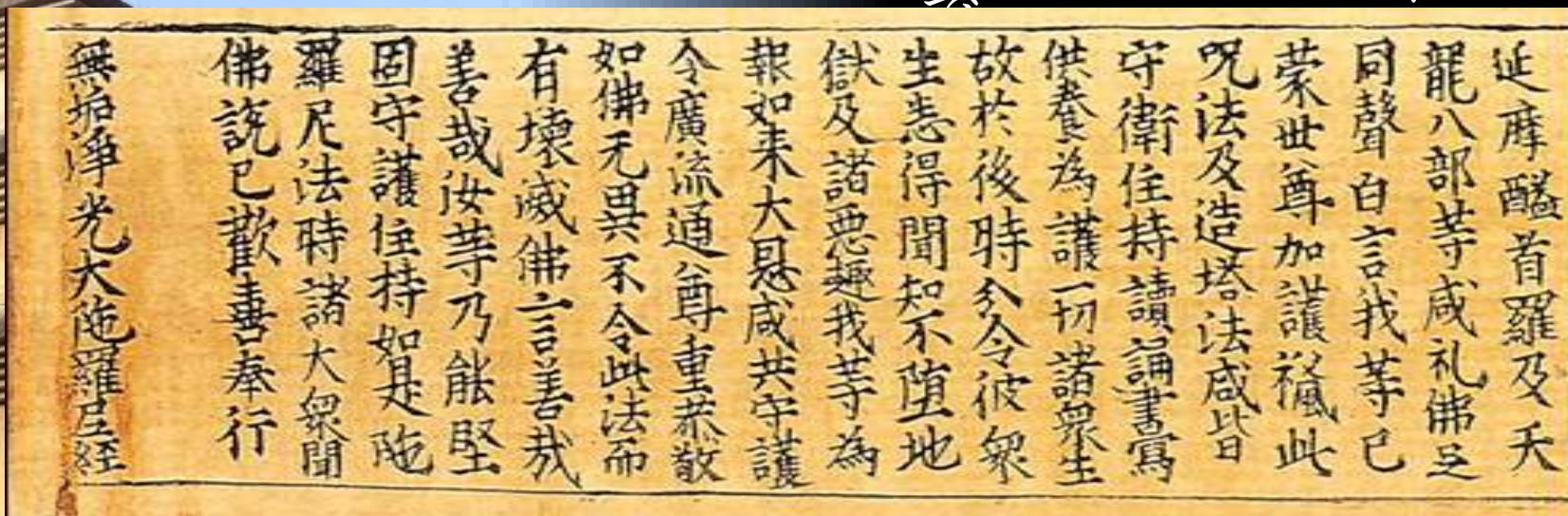
無垢淨光大陀羅尼經

仏國寺の釈
陀羅尼經が

翻訳された

この釈迦塔
德王一〇年

韓国の研
究古の印刷



トハラ
(Tukhara)

無垢淨光大陀羅尼経の東伝

慶州仏国寺で釈迦塔が
建立される(751年)

則天武后が法藏とトハラからの渡来僧・弥陀山
に無垢淨光大陀羅尼経を重訳させる(701年)



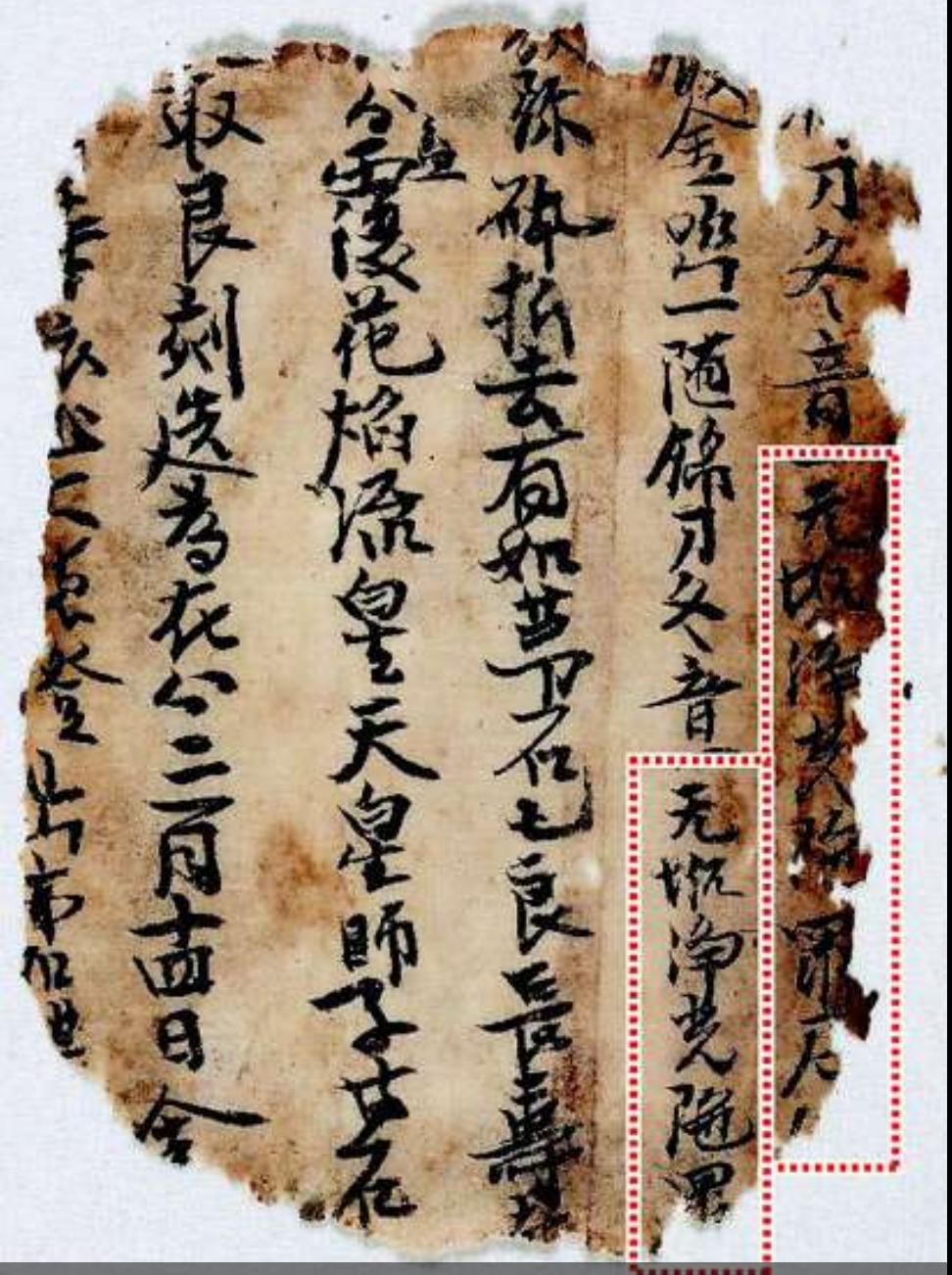
資料映像：韓国觀光公社「仏國寺と石窟庵」より

墨書紙片が投げかけた疑惑

「解説」

ところがこの塔からは、無垢淨光大陀羅尼経のほかに、一つの紙塊が発見されていた。墨書紙片と呼ばれるこの紙塊を解読した結果、釈迦塔は新羅の景德王十年（七五一）に建立された後、高麗の太平四年（一〇一四）に一度改修され、その際にも無垢淨光大陀羅尼経二種を納めたことが明らかになつた。世界最古の印刷物という国宝に疑惑が生じたのである。

これをスクープした新聞記者は、当時の心情を次のように語っている。



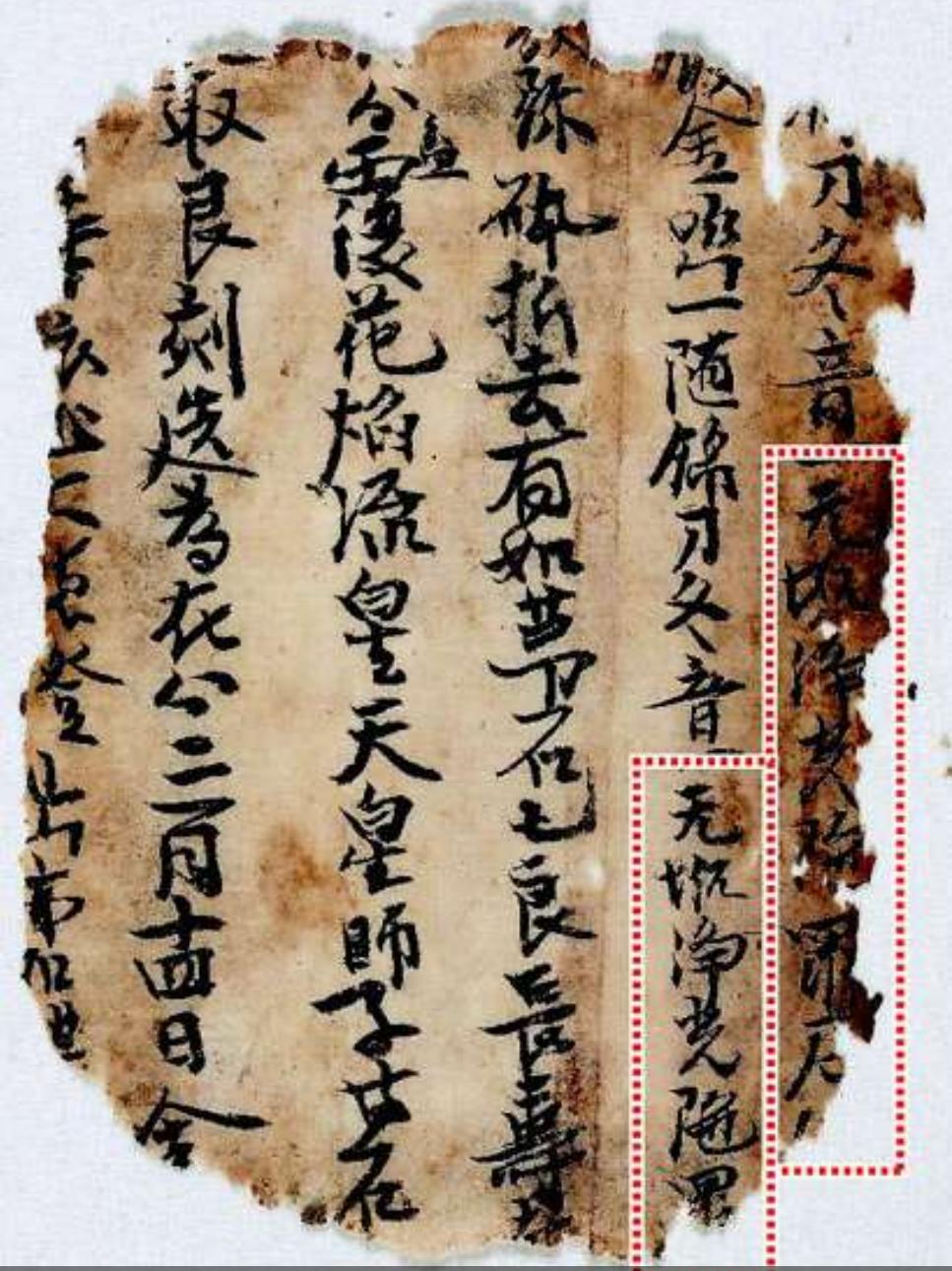
墨書紙片から発見された釈迦塔重修記

墨書紙片が投げかけた疑惑

（墨書紙片から見つかった）一〇二四年に記録された「釈迦塔重修記（修復記録）」に「無垢淨光大陀羅尼経を収めた」との記述があることを知ったのは、半月ほど前のことだ。その話はある文化財に関する専門家から知らされた。その専門家は「残念なことだが、事実は事実として明らかにするしかないだろう」と語った。

慎亨浚「世界最古とされてきた無垢陀羅尼経の真実」

（朝鮮日報二〇〇七年三月一二日）



墨書紙片から発見された釈迦塔重修記

墨書紙片が投げかけた疑惑

何日か悩んだ揚げ句、小学校の教科書で習つた「ペンの力」という話を思い返しながら、取材を開始した。

その話とは、第一次世界大戦下の英國で、新聞社の中では唯一「デーリーメール」紙だけが、「戦況は英國に不利だ」という事実を何度も報道したという逸話だ。これには「敵を利するもの」という非難が殺到した。だが前線から帰還した負傷兵を通じて「実際の戦況」が明らかになり、英國政府は兵器改善などを急ぎ、その結果連合軍は勝利した。

戦争が終わつた後、ドイツ皇帝のヴィルヘルム二世は「わたしはデーリー・メールという新聞のせいで負けた」と語つた。

慎亨浚「世界最古とされてきた

無垢陀羅尼経の真実」

(朝鮮日報二〇〇七年三月一二日)



慎亨浚記者



あなたがもし記者だつたら、世界最古と誇る国宝に、疑惑をはさむような報道をするか。

③日本が主張する世界最古の印刷物

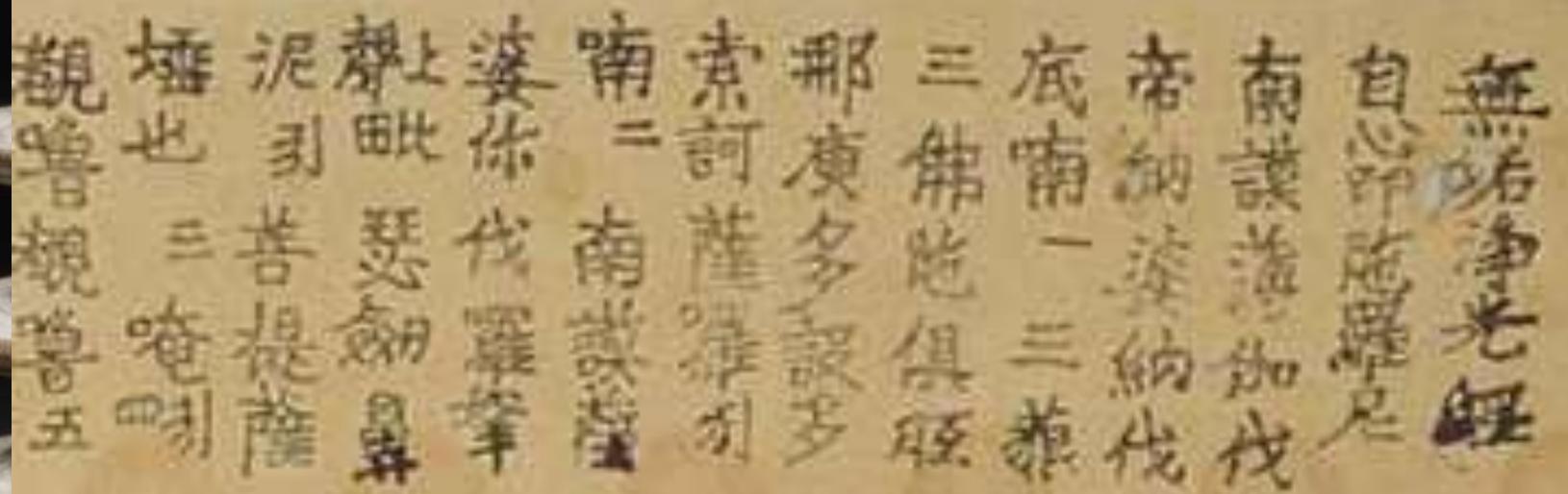
唐

法隆寺に現存する
百万塔陀羅尼
(764-770年)

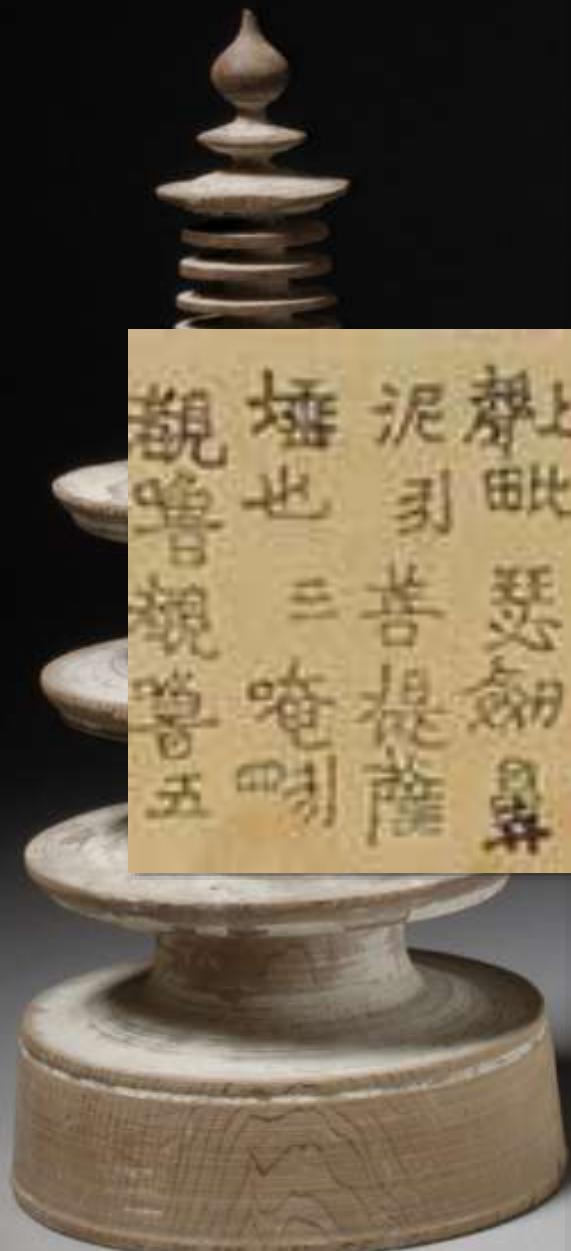
法隆寺に伝わる百万塔陀羅尼

「解説」

『続日本紀』
女帝・称德
平定後、レ
六年近くの
塔・百万其
した無垢造
大寺に分罷
法隆寺に
垢淨光大院
されていフ



良時代の
勝の乱の
〇年まで
南謨造加茂
南謨造一三
中に印刷
三重小
底南一三
納めて十
千基保存
小塔と無



制作年が明らかな最古の印刷物

戊午^①、初め(称徳)天皇、八年の乱
②平ぎて乃ち弘願(ぐがん)を發して三重小塔一百万基を造らしむ。高さ各四寸五分。その徑三寸五分。露盤の下に各根本・慈心・相輪・六度等の陀羅尼を置く。ここに至りて功畢りて諸寺に分置す。

【注釈】

続日本紀卷三十

①神護景雲四年、宝龜元年(七七〇年)四月二十六日

②天平宝字八年(七六四年)に惠美押勝(藤原仲麻呂)が起こした反乱

姓○巳酉授無位紀朝臣豊賣從五位下○壬

子授正八位上道公張_ニ從五位下以貢獻也

○戊午初 天皇八年乱平乃發弘願入造三

重小塔一百万基高各四寸五分基三寸五

分露盤之下各置根本慈心相輪六度等陀羅

尼至是功畢分置諸寺賜供事官人已下仕丁

已上一百五十七人爵各有差○五月_ノし丑始

聽諸國國師乘驛朝集○庚午以從五位下田

上王爲縫殿頭從五位下真立王爲造酒正從五位下笠朝臣し麻呂爲伊豆守從五位上大伴宿祢駿河麻呂爲出雲守正五位上大伴宿





library 001

百万塔/無垢淨光経自心印陀羅尼

資料映像：岩瀬文庫「百万塔陀羅尼」より

トハラ
(Tukhara)

無垢淨光大陀羅尼經の東伝

慶州仏国寺で発見の
無垢淨光大陀羅尼經
(751年?)

唐

則天武后が法藏とトハラからの渡来僧・弥陀山
に無垢淨光大陀羅尼經を重訳させる(701年)

称徳天皇が惠美押勝の乱の鎮定後、
無垢淨光大陀羅尼經を百万部を印刷(764-770年)



唐

印刷された年が印字された最
古の印刷物は？

| |
|-----------------------------------|
| 1600BC |
| 1500BC |
| 1400BC |
| 1300BC |
| 1200BC |
| 1100BC |
| 1000BC |
| 900BC |
| 800BC |
| 700BC |
| 600BC |
| 500BC |
| 400BC |
| 300BC |
| 200BC |
| 100BC |
| 0 |
| 100 |
| 200 魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280 |
| 300 晋 265-316 |
| 400 五胡十六国時代 東晋 317-420 |
| 500 北朝 439-589 南朝 420-589 |
| 600 隋 581-619 |
| 700 唐 618-907 |
| 800 五代十国 907-960 |
| 900 遼 北宋 960-1127 |
| 1000 金 1115-1234 南宋 1127-1279 |
| 1100 元 1271-1368 |
| 1200 明 1368-1644 |
| 1300 清 1616-1912 |
| 1400 中華民国 1912-1949 |
| 1500 中華人民共和国 1949- |

印刷年が印字された世界最古の印刷物

印刷術の誕生

金剛般若波羅蜜経(868年、刊行年を明記)

1900年、敦煌石窟(莫高窟)から木版の
金剛般若波羅蜜経が発見される



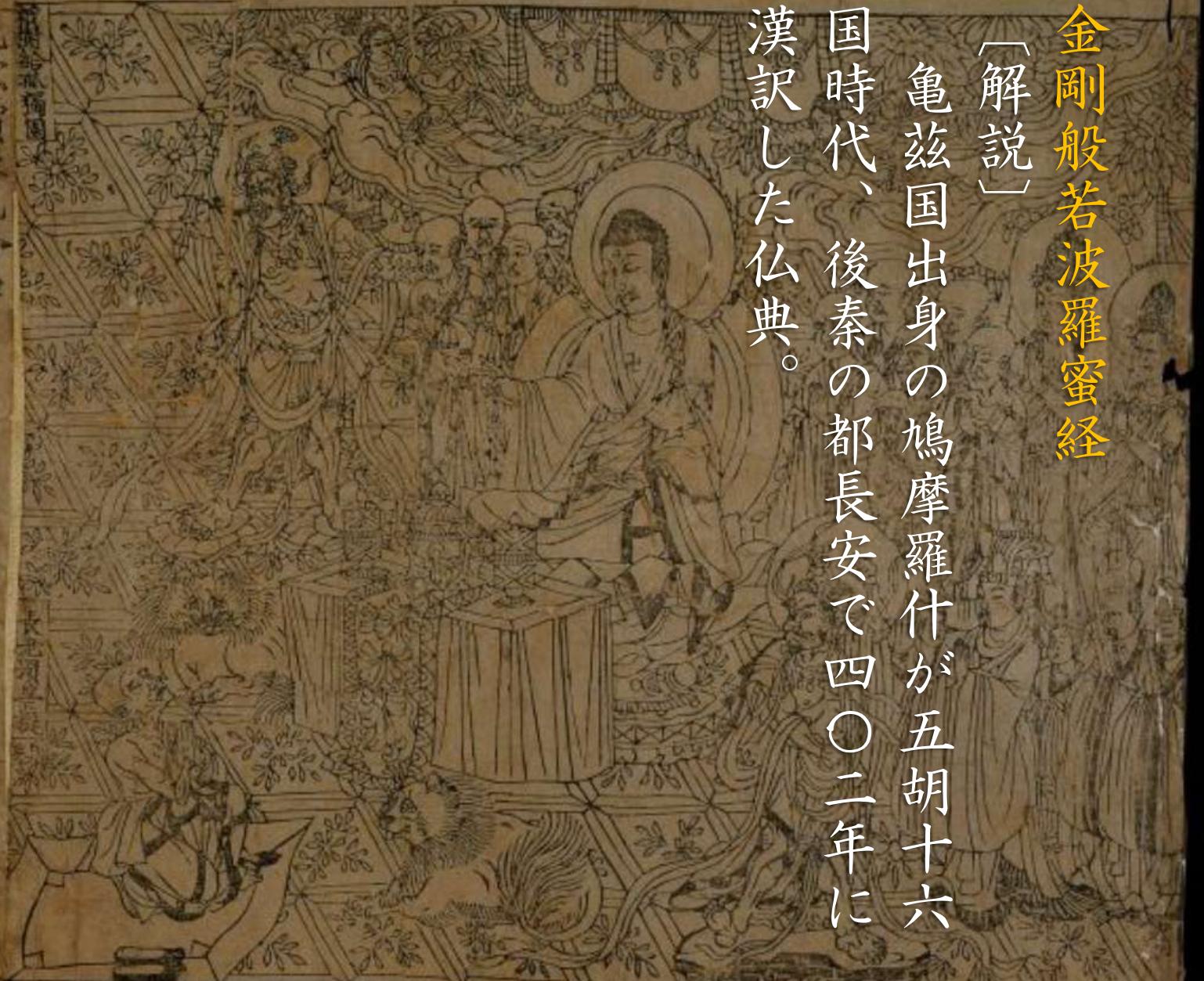


敦煌莫高窟第17窟(蔵経洞)前に置かれた敦煌文書

金剛般若波羅蜜經

〔解説〕

龜茲国出身の鳩摩羅什が五胡十六國時代、後秦の都長安で四〇二年に漢訳した仏典。



凡欲讀經先念淨口業真言一遍
補唎 补唎 摩訶補唎 补補唎 婆婆訶
奉請除灾金剛 奉請辟多金剛 奉請黃隨求金剛
奉請白淨水金剛 奉請亦聲金剛 奉請定除厄金剛
奉請紫賢金剛 奉請太神金剛

金剛般若波羅蜜經

如是我聞一時佛在舍衛國祇樹給孤獨園與大比丘衆千二百五十人俱尔時世尊食時著衣持鉢入舍衛大城乞食於其城中次第乞已還至本處飯食訖取鉢洗足已敷座而坐時長老須菩提在大衆中即從坐起偏袒右肩右膝著地合掌恭敬而白佛言希有世尊如來善護念諸菩薩善付囑諸菩薩世尊善男子善女人發阿耨多羅三藐三菩提

金剛般若波羅蜜經

釈迦(ブッダ)と十大弟子の一人・須菩提(スブートエイ)の問答のようすが克明に描かれている。



金剛般若波羅蜜經
釈迦牟尼佛說
眾中即從坐起偏袒右肩右膝著地合掌恭敬而
白佛言希有世尊如來善護念諸菩薩善付囑諸
菩薩世尊善男子善女人發阿耨多羅三藐三菩提

阿耨多羅三藐三菩提心者於一切法應如是

法

金剛般若波羅蜜經の刊行年代

須解説

有人以滿無量阿僧祇世界七寶持

用布敦煌本

金剛般若波羅蜜經の卷

末には「咸通九年四月十五日、王玠
が両親のために謹んで造り寄進し
た」という刊記があり、咸通九年（八
六八）に刊行されたことがわかる。年
月日が明記された印刷物としては世
界最古のもの。

敦煌石窟から発見された後、スタ
インによつて英國に持ち出され、現
在は大英図書館に所蔵されている。

娑婆訶

咸通九年四月十五日王玠為

二親敬造普施

奉答不審近日

尊體何似伏惟倍加

重下情舊望謹狀

第三節

出版のはじまり

写本の時代から刊本の時代へ



論語
卷之三
孔子對曰學宜楷諸
枉勢諸直則人不眠楷猶故也
諸之言於謂極之
於指者之上位季康子敏使人敬中以物
服之子曰臨之以庄則敬孝慈則樂
謂其無政故

印刷術が誕生する前、人々は
どのようにして書籍を手に入れ
ていたのか？

子曰書亡孝乎唯夫

為政是亦然也

父母為嚴君則子為臣之

故孝友施為政

也

奚其為政

也

信不知其可

不知其可行

大車無輶小車

行之哉

輶回輶歸以節之車待輶輶而行也

大車百乘小車羊車輶寄輶

十世可知其制度更也

子曰殷因於夏

因於夏孔所損益可知

目皆在可教誡

雖百世可知易損益之極於三王亦不是過

自周之後雖百世間庶由可知以為

天日神地日松木日鬼其祖先而祭之

媚永淫祀之福斯易妨

祀

而祭之者是謬

媚永淫祀之福斯易妨

祀

1969年に新疆のアスター古墳で発見された唐代の論語の写本

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265

蜀 221-263

吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代

東晋 317-420

北朝 439-589

南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼

北宋 960-1127

金 1115-1234

南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

写本の時代

印刷技術の誕生以前、本はすべて書き写されていた

梁の袁峻

袁峻（生没年不詳）

〔解説〕

南北朝梁の武帝に仕えた官僚・文人。字は孝高。陳郡陽夏（現河南省周口市太康県）の人。

南北朝時代には、まだ印刷術は誕生していなかつたため、袁峻は人から本を借りて書き写すことで蔵書を増やし、文人としての教養を身につけていった。



写本の時代

袁峻①、字は孝高。陳郡陽夏の人である。(中略)峻は早くに両親を亡くしたが、志は篤く、学問を好んだ。家が貧しく書物がなかつたため、いつも人から借りて写すのを日課としていた。毎日五十枚ずつ、所定の枚数を満たすまでけつして休むことはなかつた。

『梁書』卷四九 袁峻伝

孝綽從弟孺同郡到溉溉弟洽從弟沆吳郡陸倕張率竝以文藻見知多預讌坐雖仕進有前後其賞賜不殊天監十年卒時年三十臨終呼友人南陽劉之遜託以喪事務從儉率苞居官有能名性和而直與人交面折其非退稱其美情無所隱士友咸以此歎惜之

袁峻字孝高陳郡陽夏人魏郎中令渙之八世孫也峻早孤篤志好學家貧無書每從人假借必皆抄寫自課日五十紙紙數不登則不休息訥言語工文辭義師剋京邑鄱陽王恢東鎮破岡峻隨王知管記事天監初鄱陽國建以峻爲侍郎從鎮京口王遷郢州兼都曹參軍



唐代に誕生した印刷術を応用した
書籍の出版は、いつごろ始まつたの
か？

書籍出版の開始

書籍の出版は唐代民間を中心
に実用化された。

五代十国時代になると、各地の武人政権の実務を担つた文人官僚の要望により、国家事業として儒教經典などの出版事業が始まつた。

| |
|-----------------------------------|
| 1600BC |
| 1500BC |
| 1400BC |
| 1300BC |
| 1200BC |
| 1100BC |
| 1000BC |
| 900BC |
| 800BC |
| 700BC |
| 600BC |
| 500BC |
| 400BC |
| 300BC |
| 200BC |
| 100BC |
| 0 |
| 100 |
| 200 魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280 |
| 300 晋 265-316 |
| 400 五胡十六国時代 東晋 317-420 |
| 500 北朝 439-589 南朝 420-589 |
| 600 隋 581-619 |
| 700 唐 618-907 |
| 800 五代十国 907-960 |
| 900 遼 北宋 960-1127 |
| 1000 金 1115-1234 南宋 1127-1279 |
| 1100 元 1271-1368 |
| 1200 明 1368-1644 |
| 1300 清 1616-1912 |
| 1400 中華民国 1912-1949 |
| 1500 中華人民共和国 1949- |

日本の留学僧が見た初期の出版物

印刷術の誕生

唐の咸通六年(865年)、日本留学僧が長安で刊本を書写



日本の留学僧が唐の都長安で唐韻、
玉篇の版本を書写(865年)

日本の僧^が見た初期の印刷物

「解説」

平安時代の八六二～八六年、唐に留学した僧・宗叡(しゅうえい)は、多くの仏教經典を請來した。その目録が『新書写請來法門等目録』である。

この目録には『唐韻』や『玉篇』など、日本の留学僧が長安で書き写した字書の版本の名が記されている。

日本の僧が見た初期の印刷物

西川印子『唐韻』一部五卷
同印子『玉篇』一部三十卷

右の雑書は、仏教の要籍ではない
が、大唐の咸通六年（八六五）六月から
十月まで、長安城右街の西明寺で、
日本留学僧円載法師が書写した雑書
の目録は右のとおり。

『新書写請來法門等目録』卷一

- 大禮釋文次一卷
七曜曆一卷
七曜曆口一卷
六壬名例と戌歌一部二卷
明鏡速記一部十卷
秘錄集一部 天雨集子
前集書 章句一卷
西川印子唐韻一部五卷
同印子玉篇一部廿卷
後入唐儒同錄一卷

| |
|---------------------|
| 1600BC |
| 1500BC |
| 1400BC |
| 1300BC |
| 1200BC |
| 1100BC |
| 1000BC |
| 900BC |
| 800BC |
| 700BC |
| 600BC |
| 500BC |
| 400BC |
| 300BC |
| 200BC |
| 100BC |
| 0 |
| 100 |
| 200 魏 220-265 |
| 蜀 221-263 |
| 吳 222-280 |
| 300 晉 265-316 |
| 400 五胡十六国時代 |
| 東晋 317-420 |
| 500 北朝 439-589 |
| 南朝 420-589 |
| 600 隋 581-619 |
| 700 唐 618-907 |
| 800 五代十国 907-960 |
| 900 遼 |
| 北宋 960-1127 |
| 1000 金 1115-1234 |
| 南宋 1127-1279 |
| 1100 元 1271-1368 |
| 1200 明 1368-1644 |
| 1300 清 1616-1912 |
| 1400 中華民国 1912-1949 |
| 1500 中華人民共和国 1949- |

民間での書籍出版の始まり

印刷術の誕生

日本留学僧が長安で刊本を書写(865年)
四川の民間で実用書が出版される(883年)

民間での書籍出版のはじまり
〔解説〕

唐代の末、黄巢が率いる反乱軍が
都・長安に侵攻。僖宗とその家臣た
ちは八八一年、蜀(四川省)に逃れた。
僖宗とともに蜀に行つた柳玭(ひん)
は、当時この地で占いや字典、手習
いなどの実用書が粗雑に印刷され、
販売されていたことを記している。

四川省成都で占いや字典、手習い
などの実用書が出版される(883年)

人各部隨帙刻印板廣頒天下如諸色人要寫經書並請依所印刻本不得更使雜本交錯 爰日齋叢鈔云
蜀裔出私財百萬營學館且請板刻九經蜀主從之由是通鑑載後唐長興三年二月辛未初令國子監校定九經雕印賣之又曰自唐末以來所在學校廢絕蜀母昭
蜀中文學復盛又曰唐明宗之世宰相馮道李愚請令判國子監田敏校定九經刻板印賣從之後周廣順三年六月丁巳板成獻之由是雖亂世九經傳布甚廣
王仲言揮塵錄云毋昭裔貧賤時嘗借文選于交遊間其人有難色發憤異日若貴當板以鏤之遺學者後仕王蜀爲宰相遂踐其言刊之印行書籍創見于此事載陶岳五代史補後唐平蜀明宗命太學博士李鍇書五經仿其製作刊板于國子監爲監中刻書之始 猶覺察雜記云雕印文字唐以前無之唐末益州始有墨板後唐方鏤九經悉收人間所有經史以鏤板爲正見兩朝國史此則印書已始自唐末矣案柳氏家訓序中和三年癸卯夏鑿興在蜀之三年也余爲中書舍人旬休閱書于重城之東南其書多陰陽雜記占夢相宅九宮五緯之流又有字書小學率雕板印紙浸染不可盡曉葉氏燕語正以此證刻書不始于馮道而沈存中謂板印書籍唐人尚未盛行爲之自馮瀛王始印五經自後典籍皆爲板本大槩唐末漸有印書特未盛行後人遂以爲始于蜀也當五季亂離之際經籍方有託而流布于四方天之不絕斯文信矣 甲戌靈武

民間での書籍の印刷と出版 誅党項阿埋等十族與康福入白魚谷追襲叛黨殺大首領六人
中和三年(西暦八八三年)夏、陛下が蜀に移られて三年目のことである。當時、中書舍人の職にあつた私は、十日に一度の休みを利用して、重城の東南に本を見にいった。

本の多くは陰陽雜記、占夢、相宅、九宮五緯の類で、ほかに字書や手習いの本もあつた。どれも木版で刷られたが、墨がにじみ、よく判読できなかつた。

『旧五代史』卷四十三所引(唐)柳玭「柳氏家訓序」



なぜ武人と呼ばれる軍閥が支配した五代十国時代に、国家事業として儒教経典などの出版が行われたのか？



〔解説〕
唐王朝が滅亡した後、中国各地には武人と呼ばれる武装集団が割拠していた。この武人たちによつて旧来の門閥貴族が一掃された後、新たな政治の担い手となつたのが、科挙出身の文人官僚たちであつた。

受験競争を勝ち抜いた文人官僚たちは、科挙による実力本位の平等な社会を守るために、儒教經典などの書籍を出版し、教育の普及に努めた。

実力本位の平等な社会を求めて



地方政権（後蜀）の出版事業

蜀の地は唐末以来、学校が荒廃していた。母昭裔^①は私財を投げうつて学校を再建するとともに、後蜀の後主^②に願い出て九経を出版した。

【解説】

- ①母昭裔（ぶしおうえい）は、河中竜門（現在の山西河津県）の人。生没年不詳。五代十国時代の後蜀に仕えた文人官僚。
- ②後蜀の第二代皇帝・孟昶（ちょう 九一九～六五）

『十国春秋』母昭裔^②伝



地方政権（後蜀）の出版事業

母丘儉（昭裔）は、貧しかつたころ、友人から『文選』を借りようとして、嫌な顔をされたことがあつた。母はこれに発奮し、「いつか富貴の身になつたら、これを出版して学生たちに与えよう」と誓つた。

その後、後蜀に仕えて宰相になると、誓いのとおりこれを出版した。

（宋）王明清『揮塵余話』卷二所引五代史補



中原王朝の出版事業

後唐の長興三年（西暦九三二年）二月、中書門下①は石経文字により九経の版木を作るよう上奏した。

明宗②は国子監に詔を下し、博士や学生を集めて長安の石経から各々が専門とする経書を筆写し、仔細に校閲した後、版木職人を雇つて各部帙ごとに印刷し、広く天下に頒布するよう命じた。また一般の者が経書を写す時にもこの勅印本に従い、他の雑本と混ぜてはならないと命じた。

〔注釈〕

①宰相の馮道と李愚を指す

②突厥沙陀部族出身の第二代皇帝・李嗣源

『五代会要』卷八 経籍



では、儒教經典が国家事業として出版される以前、科挙の教科書となる儒教經典は、どのようにして公布されていたのか？



儒教經典の定本・石経

〔解説〕

漢代に儒教が国教化されると、歴代王朝は儒教經典の定本を示すため、經典を石碑に刻んだ石経を建立した。後漢の熹平石経（洛陽）、魏の正始石経（洛陽）、唐の開成石経（長安）、五代後蜀の蜀石経（成都）、北宋の嘉祐石経（開封）、南宋の紹興石経（杭州）、清の乾隆石経（北京）などがある。



(唐)開成石経(西安碑林博物館蔵)

72

73

12

儒教経典計63万字を190の石碑に刻んだ清の乾隆石経（北京孔子廟）



| | |
|--------|------------------------|
| 1600BC | |
| 1500BC | |
| 1400BC | |
| 1300BC | 殷 1600BC頃-1046BC |
| 1200BC | |
| 1100BC | |
| 1000BC | |
| 900BC | 周 1046BC-771BC |
| 800BC | |
| 700BC | |
| 600BC | |
| 500BC | 春秋戦国時代 770BC-221BC |
| 400BC | |
| 300BC | |
| 200BC | 秦 221BC-207BC |
| 100BC | |
| 0 | 漢 206BC-220AD |
| 100 | |
| 200 | 魏 220-265 |
| 300 | 蜀 221-263 晋 265-316 |
| 400 | 五胡十六国時代 |
| 500 | 北朝 439-589 |
| 600 | 隋 581-619 |
| 700 | |
| 800 | 唐 618-907 |
| 900 | |
| 1000 | 五代十国 907-960 |
| 1100 | 遼 |
| 1200 | 北宋 960-1127 |
| 1300 | 金 1115-1234 |
| 1400 | 南宋 1127-1279 |
| 1500 | 元 1271-1368 |
| 1600 | |
| 1700 | |
| 1800 | 明 1368-1644 |
| 1900 | |
| 2000 | 清 1616-1912 |
| | 中華民国 1912-1949 |
| | 中華人民共和国 1949- |

五代書籍出版が実現した「唐宋変革」

(907-960)

—唐代以前—門閥貴族が政治の実権を握る

五代十国時代—門閥貴族が没落し文人官僚が実権掌握

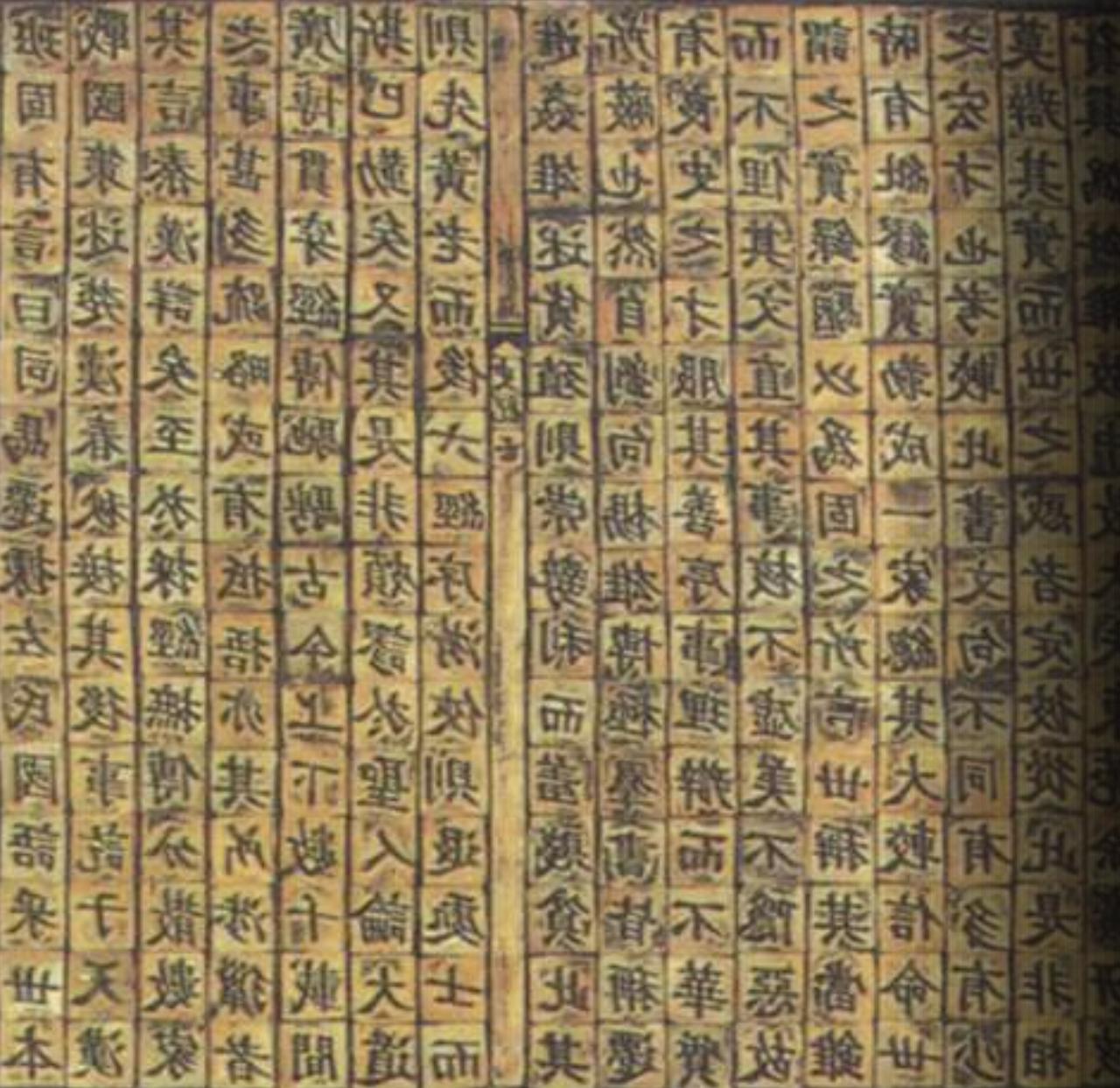
宋代以降—皇帝の独裁体制が確立

活字印刷の発明

〔解説〕

五代十国時代に本格化した雕版印刷（版木を使った印刷）に続き、北宋時代の十一世紀半ばには、活版印刷（活字を使った印刷）も発明された。

ドイツのグーテンベルクが金属活字を使って四十二行聖書を印刷したのは、十五世紀半ば。それよりも四百年も前のことであつた。



民間での書籍出版の始まり

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280
晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420
北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

印刷術の誕生

日本留学僧が長安で刊本を書写(865年)

民間で実用書の出版始まる(883年)

国家事業として儒教経典の出版始まる(932~53年)

畢昇が活字印刷を発明(1041~48年)

活版印刷の発明

書籍の印刷出版は、唐代にはまだ盛んには行われていなかつたが、(五代十国時代の)馮道が始めて(儒教經典の)五經を印刷して以来、書籍はみな版本となつた。

(北宋時代の)慶曆年間(一〇四一~一〇八八年)には、民間の畢昇という人物が、活版印刷を行つた。

用十七道合二十一道白棋各百五十
亦與後世法不同

(宋)沈括『夢溪筆談』卷十八技艺

算術多門如求一上驅搭因重因之類皆不離乘除唯增成一法稍異其術都不用乘除但補虧就盈而已假如欲九除者增一便是八除者增二便是但一位一因之若位數少則頗簡捷位數多則愈■不若乘除之有常然算術不思學見簡卽用見繁卽變不膠一法乃爲通術也板印書籍唐人尚未盛爲之自馮瀛王始印五經已後典籍皆爲板本慶曆中有布衣畢昇又爲活板其法用膠泥刻字薄如錢唇每字爲一印火燒令堅先設一鐵板其上以松脂臘和紙灰之類冒之欲印則以一鐵範置鐵板上乃密布字印滿鐵範爲一板持就火煬之藥稍鎔則以一平板按其面則字平如砥若止印三二本未



東アジアで誕生した印刷術と
書籍出版は、いつごろヨーロッ
パに伝わったのか？

中世最大の百科事典を編纂したドミニコ会士
ヴァンサン・ド・ボーヴェ(Vincent de Beauvais)
(c. 1190-1264)

印刷術と書籍出版の伝播

ドイツでグーテンベルクが
四十二行聖書を活版印刷
(1455年)

新羅の都・慶州の仏国寺に釈迦塔
が建立され、無垢淨光大陀羅尼經
の木版本を奉納(704~51年)?

ヨーロッパで宗教版画が
木版印刷される
(14~15世紀)

仏教のため印刷術が誕生(7世紀)
国家事業として書籍出版(10世紀)
活字印刷が発明される(11世紀)

称徳天皇が無垢淨光大陀羅尼經を
百万枚印刷させ、木製の小塔に納
めて十大寺に分置(764年~70年)

まとめ

■ 唐末から五代十国時代へと続いた武人による支配の中で、門閥貴族は勢力を失い、かわって庶民から身を起こした科挙出身の文人官僚が新たな政治の担い手となつた。

■ 文人官僚たちは、身分や家柄に関係ない実力本位の社会を守るために、唐末に民間で発達した印刷技術を使って知識の普及につとめた。

■ その結果、中国はヨーロッパよりも五百年以上も早く、書籍出版の時代を迎えた。

参考文献

- 一. T・F・カーテー著、敷内清・石橋正子訳注『中国の印刷術とその発明と西伝』（平凡社東洋文庫、一九七七年）
- 二. 潘吉星著『中国古代四大発明と源流・外伝及世界影響』（中国科学技术大学出版社、二〇〇二年）
- 三. 韓国図書館学研究会編『韓国古印刷史』（同朋社、一九七八年）
- 四. 日本印刷学会西部支部百万塔陀羅尼研究班編『百万塔陀羅尼の研究』（八木書店、一九八七年）
- 五. 中根勝『日本印刷技術史』（八木書店、一九九九年）
- 六. 倉石武四郎編『中國古典文學大系二〇 宋代詞集』（平凡社、一九七〇年）